

平成22年1月、男性から女性になる性別適合(性転換)手術のためタイに出国した関東地方の飲食店従業員、中野由佳(29)〔仮名〕に不安はなかった。

性同一性障害と診断されてから約1年。全身麻酔による手術は約6時間に及んだ。目覚めて傷口の熱を感じたとき、「長い道のりが終わった」と安堵した。

患者の多くがタイに飛んでいる。タイでの手術をコードネートする会社は複数ある。

で幸せになるとはかぎらない。外見や人間関係で不幸になる人もいる。ガイドラインは当事者が後悔しないために作られているから、従うべきだと思う」

## 慎重さ必要

性同一性障害の治療の中でも、特に生殖機能を失い、性の境界を越える性転換手術の実施は、不可逆であるだけに慎重さが求められる。

「胸がふくらんできたら違和感があつて…。ホルモン

女かという性自認が身体の性別と違うこと。性自認が揺らぐ人もおり、慎重に診断してから治療を始めなくてはいけない」

ナグモクリニック名古屋院(名古屋市)を訪れた30代の男性は、性同一性障害の診断を得ていながら、「睾丸だけでも取つて」と訴えた。同様の患者は毎日のように訪れるといふ。

院長の山口悟(40)は「生殖機能が永遠に絶たれるということをよく考えて」と男性を諭した。

埼玉医科大は10年に、国内で初めてガイドラインを順守した正当な医療として性転換手術を実施。大阪府立大准教授(ジェンダー研究)の東優子(44)はこの時期を転換期と

だが、ネット上では「効果的に女性化」などと睾丸摘出手術の広告の文句が躍る。山口は「ガイドラインを無視して手術が横行している」と憂えている。

## 医療問題に

年B組金八先生」で性同一性障害の女子生徒が登場。モデルとなつたライターの虎井まさ衛(47)は「ドラマの力は大きい。10年たつのに『金八を見た』といわれる」と驚く。

15年には戸籍の性別変更を認めめる性同一性障害特例法が成立。議員の説得に奔走したGID(性同一性障害)学会は「国のお墨付きを得た意義は大きい」と振り返る。

東はこんな見方を示す。「反対の性別を望む主張が、既存の『男らしさ』『女らしさ』の概念と衝突しないと受け止められ拒絶されなかつた。性差があいまいになることへの社会の嫌悪は強い」

ネットで購入した女性ホルモン剤を服用していたのだ。

同一性障害の診断・治療指針。医療機関側に順守の義務はないが、患者の後悔を防ぎ、スマートな社会適応を促すために従うことが望ましいとされる。(1)2人の精神科医により診断を確定(2)精神科の治療を経ても性別違和感が続いた場合に身体的治療に移行(3)ホルモン治療は18歳以上、性別適合(性転換)手術は20歳以上が対象

(4)医療機関は同手術の実施について医師や法曹関係者らで構成する判定会議で慎重に検討することなどを求めている。

# 治療

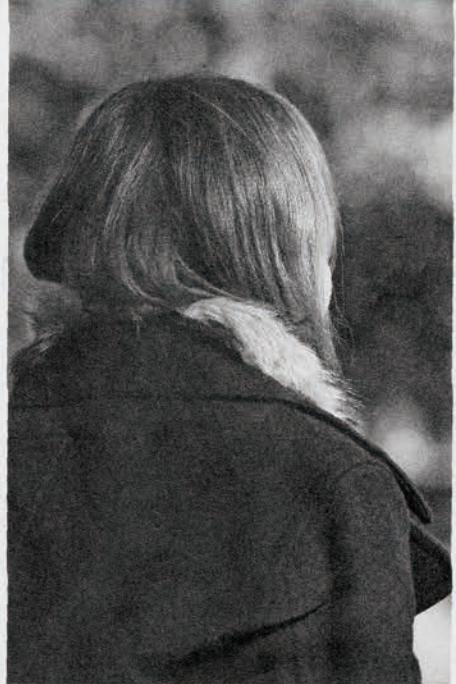
## ボーダー

### その線を越える時

第2部

性

■ ■ 2



性別を変える治療を慎重に行うためのガイドラインがあり、基準を満たして手術を行える医療機関は少ない。順番待ちも長く、初診から手術まで平均3~4年かかる。中野は手術までの手順をガイドラインに従つた。〔手術

受けた中野由佳〔仮名〕(荻窪佳撮影)

「ボーダー その線を越える時」への意見、感想をお寄せ下さい。

社会部FAX 03・3275・8750 社会部Eメール news@sankei.co.jp